



第 69 回卒業式 花鉢



杉並区立東原中学校 令和元年度 3月号

教育目標

自 主

感 性

共 生

## 令和元年度 第 69 回卒業式 式辞

校長 小松 進一

日に日に暖かさを増し、正門の桜も大きく花を開き始めました。

54名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは本日をもって中学校3年間の全課程を修了されました。

この春の良き日に、本来ならば、杉並区教育委員会をはじめ、小学校の校長先生、地域を代表される方々、本校に関わっていただいている皆様方、そして、ご家族の皆様のご臨席を賜り、杉並区立東原中学校第69回卒業式を盛大に挙行いたしたいところでしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、このように縮小して挙行しなければならなかったことに対して、卒業生や保護者の皆様には大変辛い思いを抱かせてしまいました。校長として心を痛めているところです。そして、皆様にお詫び申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、ただ今、一人一人に私なりの気持ちを込めて卒業証書を手渡しました。緊張した表情の中にも充実感や満足感を見ることができ、とても嬉しく、そして頼もしく思いました。残念ながら、私は、皆さんがこの伝統ある東原中学校に入学した当時の姿を知りませんが、この3年間の成長は、おそらく計り知れないものがあつたと思います。

昨年4月、私は東原中学校に着任し、初めて皆さんと出会いました。どんな3年生なのか、緊張して着任式に臨んだことを覚えています。しかし、私が心配するまでもなく、皆さんは落ち着いた態度とその明るさで迎え入れてくれました。特に卒業生の皆さんの素晴らしさを感じ取ったのは、始業式や入学式でのア・カペラによる「校歌合唱」でした。それは校歌への愛着と自信に満ちあふれた歌声を披露してくれたからです。もちろん、2、3年生全員で合唱したのですが、皆さんの存在感は抜群でした。

そして、もう一つは、「運動会」や「合唱祭」の行事です。「運動会」では、創立70周年記念ということ意識して、今までの歴史に恥じない、いや、今まで以上の最高の「運動会」を成功させようと取り組んでいました。

涙を流し、逃げることなく、心を一つにして全力で競技する3年生の熱い姿は、会場のすべての人に「自由と責任」という校風の中での活動に対して感動を与え、最高の運動会を創り上げてくれました。

また、「合唱祭」では、「百歌繚乱」をスローガンとして、たくさんのすばらしい合唱や合奏を響き渡らせようと取り組みました。

本番では、男子の力強い歌声と、女子のハーモニーの調和が見事に花開き、会場全体を美しさの中にも迫力のある、最高学年にふさわしい、鳥肌が立つほどの心のこもった合唱は、1、2年生はもちろん、私たち教職員や保護者・地域の皆様も感動させてくれたことは今でも忘れることができません。

このように、卒業生の皆さんは「学校の顔」として、その後の学校生活や学校行事においてもその存在感を示してくれました。昨年12月に行った進路に向けた面接練習では、このような質問をしてみました。『中学校3年間で一番学んだことは何ですか？』ほとんどの卒業生が、『運動会や合唱祭でクラスみんなと力を合わせて一つのを創り上げる大切さや人と人との関わり』と答えていました。『部活動での友人の大切さ』と答えた人もいましたね。こんな質問もしました。『20年後に小・中学校はあると思いますか？』『AI（人工知能）が今まで以上に発達し、国語や数学、理科、社会などの勉強は家にいながらパソコンを使って十分勉強できると思うのですが・・・』という質問です。この質問に対して卒業生は全員『学校はある。あって欲しい』と答えました。『なぜですか？』と聞くと、『確かにAIは発達し、家で学習は可能になります。勉強できると思います。でも、人と人が関わることで学ぶことがあります。それは家でパソコンに向かっていても体験することはできないと思うからです』と答えてくれました。私は、とても嬉しかったです。皆さんがこの中学校生活でたくさんの人と人との関わりを体験し、時には怒ったり、悲しんだり、喜んだり、そして、助けたり、助けられたり。また、人の考えを聞き、自分の考えを伝えることで自分自身を成長させることができたのではないのでしょうか。是非、このような体験を高校でもしてほしいと思います。

ここで、卒業に際し、皆さんにお願いがあります。皆さんは、4月から高校で学び、さらには大学等に行って社会人となります。これからの社会や世界は、次々と変化し予想も困難となっていくでしょう。たとえば、皆さんの周りには多くの外国人の方々が暮らし、一緒に働く社会になっていると思います。そのような時、「年齢や性別、国籍、人種、民族、宗教、障がい、性的指向」であることを理由とする差別をせず、これらの相違を個性として尊重し、多様性として受け入れることが大切です。そして、お互いの立場や生き方、考え方を聞き、理解を深めることと同時に自らの知識も深めてほしいと思います。これは、ダイバーシティという考え方で、予想困難な社会を生き抜くために必要な力となるでしょう。

そしてもう一つ、東原中学校の教育目標です。自他の生命を尊び、心身の健康と豊かな人間性を養い、生涯を通して「学びながら自分を伸ばしていく」ための基礎となる力を育成するために、次の目標を設定しています。

- 1 自主 (すすんで学び、自ら考える人になろう。)
- 2 感性 (豊かな心もち、たくましく生きる人になろう。)
- 3 共生 (互いを尊重し、共に高め合う人になろう。)

私は、この目標が、決して中学校だけのものだとは思っていません。常にこの目標を意識してこれからの人生を歩んでほしいと思っています。

将来、皆さんがこの地域の繁栄や東原中学校のサポーターとして帰ってきてくれることを大いに期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。大切に育ててこられた保護者の方々の、今日の日喜びも感慨も一入のことと存じます。この3年間、本校にお寄せいただきましたご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、皆さんの東原中学校への貢献に敬意を表し、深く胸に刻みます。

以上をもちまして、式辞といたします。

## 拝啓 東原中学校を卒業する皆さんへ

卒業生代表 逸見 貝華

平成29年の春、54人の仲間とともに、私たちは東原中学校の入学式を迎えました。少ない人数だからこそ、不安なことや大変なことはたくさんありました。しかし、その分、運動会や合唱祭などの行事の達成感他学年よりも大きかったと思います。

この3年間、個性豊かな先生方と出会い、その中で、悲しいお別れもありました。言われることになぜか反発したくなり、ぶつかることがあっても、相談にのってくれた先生。受験や学校生活で悩み、あぶなげに歩く私たちの後ろで、いつも見守ってくれた家族。そして地域の方々。本当に感謝しています。今はまだ「ありがとう」と声に出して素直に言えないこともある私たちです。もう少し大人になるまで待っていてください。

そして、自分を見失いそうになった時、いつも支えになってくれた仲間と出会えて、本当によかったです。3年間、楽しいことや悲しいこと、悔しいことを共有できる、そんなありふれた毎日が、どんなに自分の支えになったかわかりません。お互いの色を主張し、意見があわなくてけんかすることや、気持ちのすれ違いで嫌になることもありましたが、今日この日まで、一緒に歩んでくることができ幸せです。

今日で私たちの中学校生活が終わります。中学校3年間で育った私たちの成長の証を、このような形で終わりを迎えるのは寂しいです。けれど、これからはじまる一人一人の新しいスタートです。東原中学校での思い出を胸に、私たちは新しい世界へと旅立ちます。

令和2年3月19日

### 今後の予定

4月

- 6日(月) 始業式・着任式
- 7日(火) 入学式
- 8日(水) 新入生オリエンテーション・職員会議
- 10日(金) 避難訓練・定期健康診断始
- 13日(月) 朝礼・全校集会・新入生歓迎会
- 14日(火) 専門委員会・学校委員会
- 16日(木) 国学力調査(3年) →延期
- 17日(金) 保護者会
- 18日(土) ICT公開授業・身体計測

### 保護者・地域の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休業となり保護者・地域の皆様には、大変ご心配をおかけしております。新年度についての動向につきましては、教育委員会より通知が届き次第、緊急メール及び学校ホームページでお知らせいたします。

令和元年度における、皆様の本校へのご協力・ご支援に感謝申し上げます。